



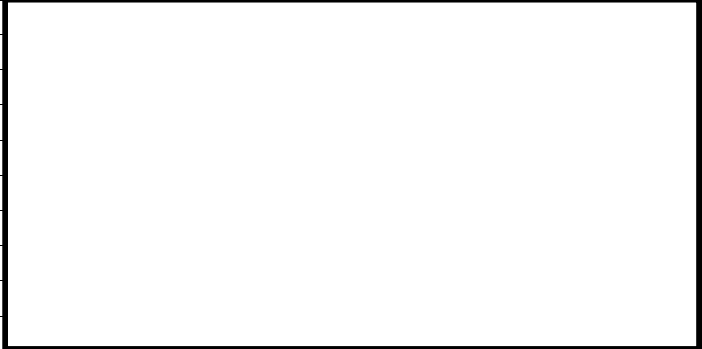
# 建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1)

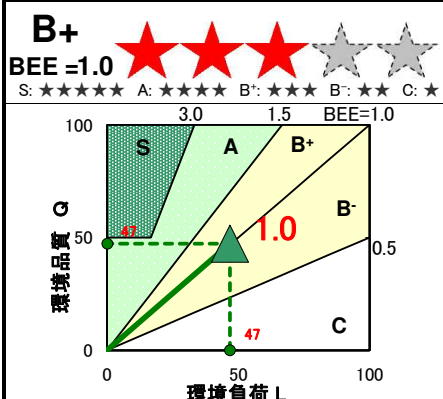
## 1-1 建物概要

建物名称	(仮称) 鶴見区緑1計画 新築工事		
建設地	鶴見区緑1丁目		
建築用途	共同住宅		
建築主			
設計者			
敷地面積	645.07	m <sup>2</sup>	
建築面積	272.29	m <sup>2</sup>	
延床面積	2,097.08	m <sup>2</sup>	
構造/階数	RC造	/	地上10階
完了年(予定)	2024年2月		

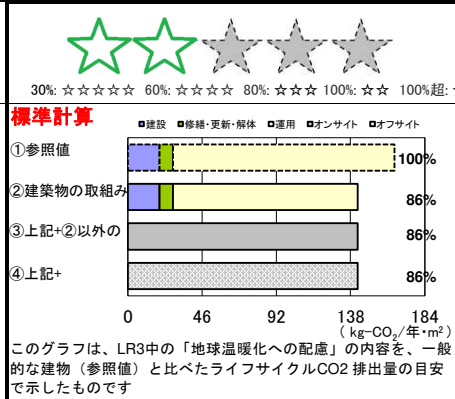
## 1-2 外観



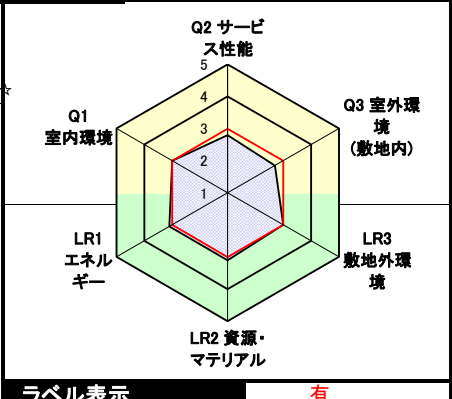
## 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



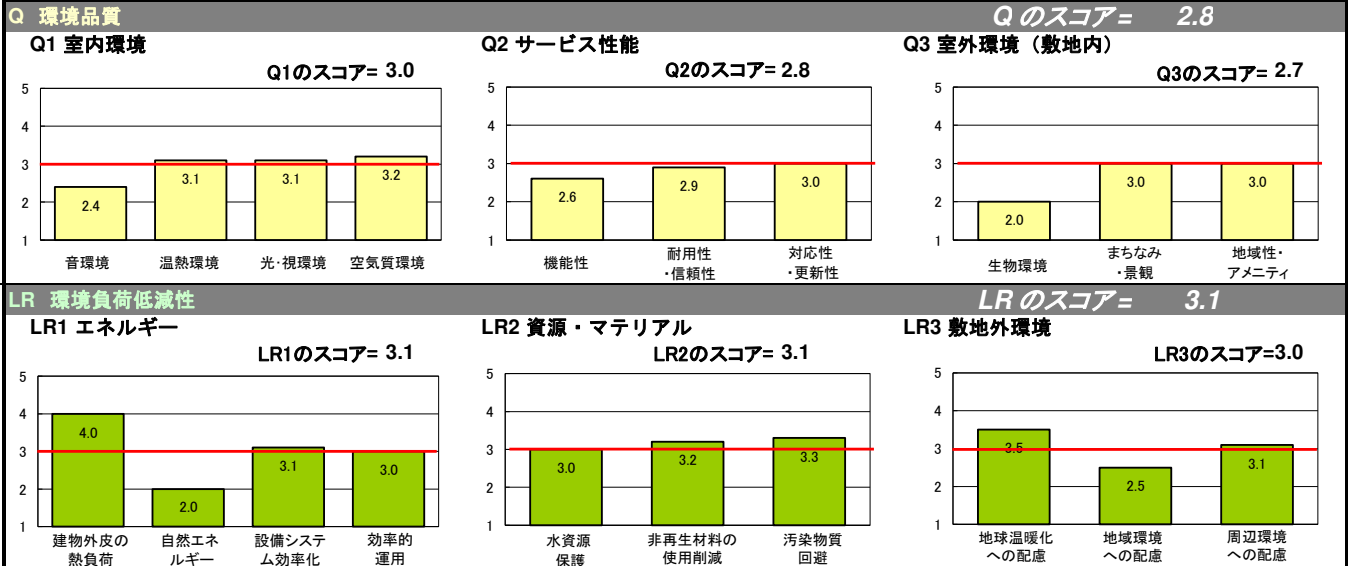
## 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)



## 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



## 2-4 中項目の評価(バーチャート)



## 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> 自然光と自然換気が十分取り込める大きさの開口部を設置し、快適な室内環境を確保すると共に、住戸の断熱性能を高め、冷暖房のエネルギー負荷を押さえた建物としている。			<b>その他</b> 特になし。
<b>Q1 室内環境</b> 自然の光と換気により室内環境に配慮している。	<b>Q2 サービス性能</b> 耐用年数の長い配管材料を採用し、維持管理の配慮に努めた。	<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> 特になし。	
<b>LR1 エネルギー</b> 断熱性能を確保し、建物の省エネルギー化に配慮している。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 地球温暖化係数の低い断熱材を採用し、汚染物質含有材料の使用回避に努めている。	<b>LR3 敷地外環境</b> ライフサイクルCO2を低く抑えることにより、長期にわたり環境負荷を軽減し、地球温暖化の防止に寄与できる建物となるよう配慮した。	

## 建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 1.0

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO2削減	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / /	地球温暖化への配慮 3.5
配慮事項	運用時の環境に配慮しつつ、発生するCO2を低く抑える計画とした。

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / /	生物環境の保全と創出 2.0
Q3 / 3 / 3.2 /	敷地内温熱環境の向上 3.0
LR3/ 2 / 2.2 /	温熱環境悪化の改善 2.0
配慮事項	特になし。

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	4.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / /	建物の熱負荷抑制 4.0
配慮事項	住戸部分の断熱性能を高め、冷暖房のエネルギー消費負荷を抑えている。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO2削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / /	設備システムの高効率化 3.1
配慮事項	照明はLEDを採用するなど、建物全体のエネルギー消費量を押さえている

## 省エネルギー基準計算結果

基準  
適合状況

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4(相当)以上、非住宅部分が1.0以下であること  
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEImが1.0以下であること(新築時)  
 (基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEImが1.0以下であること)

外皮性能 住宅部分（品確法等級） 等級4 (相当) 非住宅部分[BPI][BPI<sub>m</sub>] -

一次エネルギー消費量 建物全体[BEI][BEIm] 0.99 住宅部分[BEI] 0.99 非住宅部分[BEI][BEIm] -